

## ～ 黒留でまちおこし ～

黒留袖を使った“和”のディスプレイを各店舗に施し、街のイメージアップを図るとともに、商店街の冊子の作成配布や、きものリメイクファッションショーを開催。古き良き時代の桐生を再現することで、市内だけでなく市外からも来街者を増加させている。

所在地：群馬県桐生市本町6-385-1  
 TEL・FAX：0277-46-4178  
 URL：<http://www.hon6.com>  
 組合員数：52名  
 商店街の種類：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

JR両毛線「桐生」駅至近の中心市街地に位置する商店街。飲食、衣料品、雑貨等地域密着型の商店街だが、大型店の進出等で来街者が減少している。桐生はかつて絹織物で栄えた街であり、昔の着物がたくさん眠り、作り手もいる。そこで、桐生の特性を活かして街全体を絹織物で飾ってみてはと女性理事の一人が提案し、昭和レトロなどこか懐かしい寄りたくなる商店街のイメージを創ることを事業目的とした。



## 実施した事業の概要

本事業では、黒留袖を使った和のディスプレイを各店舗に施し、特にショーウィンドウには共通の和の照明を置いて夕方の街を彩り、統一感のある美しい景色を創ることで商店街のイメージアップと活性化を図った。

また、桐生は重要伝統的建物群保存地区としての街並みも備えていることから、街歩きを楽しんでいただいた。

## ①「黒留で和のディスプレイ」

黒留袖を各店舗にタペストリーとして飾った。そのまま飾ったときには和風照明器具を添えて演出し、また、暖簾も飾って各店舗ごとに工夫を凝らした。以上の装飾により、古き良き時代の桐生らしさを醸し出した。

## ②「商店街紹介の冊子及びチラシ制作」

チラシ、冊子共に、手配りせず商店街を中心に市役所、商工会などに9月中旬から設置した結果、予想以上の来街者となった。

## ③「和の布市」と「きものリメイクファッションショー」

10月5日に既存事業であるフリーマーケットとの同時開催とした。和のディスプレイとの相乗効果により商店街のイメージアップにつながるるとともに、イベントを通して和布の新しい利用を促す効果もあった。



## 成果と成功の要因

本事業を実施したことにより、商店街に統一感のある美しい景色が生まれ、イベントを通して和布利用の新しい啓発にもつながった。さらに、近隣消費者の商店街に対する認識を一層深め、地域との結びつきを強めることで来街者の増加に結び付けることができた。また、各店舗での売上げ増加にも結び付いた。

さらに、今回、商店街紹介冊子の制作にあたっては、完全な委託ではなく、商店街の各店主同士がお互いの魅力を引き出せるような取材方法を考えて行った。この過程を通し、普段はなかなか活動に積極的に参加できない若手組合員や女性組合員との交流を深められたことも成果となった。

## 今後の取り組み



本事業の成果を踏まえ、今後も引き続き和布を使ったまちおこしを進めたいと考えている。今回の事業が、女性の共感を得ての黒留めだったので、個々の店でも和布への取組みをもっと行いたいという意識が醸成されつつある。資金面では、組合の賦課金で賄うこととしており、組合員同士のつながりを深め、組織の体質を強化していきたいと考えている。